

飼育日誌

1/2 **チリーフラミンゴ** チリチリ 右肢が外反しているため、X線撮影。
 1/16 **ベンガルヤマメコ** シルバー♀ 動物交換のため福岡市動物公園に搬出。
 1/19 **アムートラ** ヒロシ♂ 雪の中を活発に走り回り、寝ころんだり、まんまタイムへの反応もよい。
 1/21 **アフリカゾウ** ダイスケ♂ 両前肢のターゲットトレーニング開始。
ピューマ びゅー太♂がびゅー子♀にマウント行動を繰り返す。
 1/27 **シバヤギ** パニラ♀ 信濃丞♂と同居。交尾確認。
ニホンコウノトリ 巢台で♂♀ペアがクラクラリングしていた。
 1/29 **シンリンオオカミ** 交尾体勢を3回確認。1回当たり20分～30分。
 2/3 **トナカイ** ♂(カイオウ、マオ)が柵越に角突き行動。
 2/4 **カリフォルニアアシカ** スミコ♀ 「触れ」のサインに自発的に胸をキーパーに寄せるようになった。
 2/8 **レッサーパンダ** ユウタ♂と陸♀の交尾行動確認。
 2/12 **ショウジョウトキ** 左黄♀ 砂場でうずくまり、右趾が凍傷を起こしていた。
 2/14 **ニホンイヌワシ** 信濃♂、たつこ♀ 盛んな交尾行動を確認。
 2/16 **サンショクキムネオオハン** コセン ケツメリクガメの甲羅に乗って遊んでいた。
 2/17 **ホンドキツネ** 前肢出しのトレーニングを開始。
 2/28 **ノドジロオマキザル** ヒマワリの種を入れたペットボトルを展示場に設置。夕方までに完成。
 3/7 **アライグマ** No.2299♂ 展示場から脱出。園内外を一斉捜索したが、発見できず。
 3/10 **トナカイ** カイオウ♂ 死亡。死因は誤嚥性肺炎。
 3/16 **エミュー** ガチャポンによるエサ販売を開始。通常開園スタート。ウエルカム動物(トナカイ、ポニーなど)で来園者を迎えた。
 3/22 **カピバラ** サツキ親子を屋外展示。日光浴を楽しんでいた。
ニホンコウノトリ ヒデタダ♂、ゴウ♀ペア 2個目産卵。
 3/23 **コモンマーモセット** 父ちゃん♂ 日立かみね動物園に搬出。
 3/26 **タンチョウ** ヒナ(H24生) 展示場入れ替え作業時に左肢骨折。
 3/31 **フンボルトペンギン** ヒナ5羽の生存確認(1日齢～17日齢)。鳥・豚のインフルエンザ監視体制解除。
 4/1 **ミニプタ** フリスビートレーニング開始。
 4/2 **ニホンイヌワシ** 2個採卵し、いしかわ動物園に搬出。
 4/5 **シンリンオオカミ** 最終交尾から63日目。♀の行動、外見に変化なし。
 4/6 **ミーアキャット** カネツグ♂ ぼかぼかハウスで休んでいることが多く、食欲もない。
 4/10 **コモンマーモセット** もも♀ 朝、2頭出産。授乳確認。
 4/12 **ライオン** ラガー♂ 麻酔下で爪切り。
 4/17 **アミメクリン** 寝室の砂の入れ替え。
 4/21 **アミメクリン** 飼育の日企画展「うんコレ2013」開催。
 4/25 **ホンドテン** ユウキ♂ 目の周囲と鼻の上が黒色の毛に変わっている。
 4/26 **ケツメリクガメ** カメハウスオープン。
ニホンザル サル山飾り木取り付け工事終了。
 4/27 **ピューマ** 最終交尾から93日目。♀の腹部の下垂なし。

4/28 **爬虫類舎** へびおみくじ好評。準備した65枚がすべてはける。
 4/29 **フライングケージ** ガチャポンによるエサ販売を開始。
 5/2 **ジャンボウサギ** H25出生個体の性別判明。♂8、♀6。
 5/3 **ホオアカトキ** ヒナの嘴と頭部の一部を確認。
 5/6 **インドクジャク** ♂1羽がディスプレイ、周囲に♀群が集まっていた。
ブレイリードッグ ロッキー♂ 動き活発。はらべこハウスにもよく上がる。
 5/9 **フタコブラクダ** 来来♀ 座らせることができた。顔にタッチング。
 5/12 **チンパンジー** ココ♀のお誕生日会。過去最高のリピーター数。
 5/13 **ツキノワグマ** ルビー♀、ルイ♀親子 展示場丸太に給餌した果実を必死に食べていた。
 5/16 **ラマ** アンナ♀ 寝室で出産。授乳も確認。
 5/18 **コクチョウ** 1羽ふ化。親子4羽で泳いでいた。
ラマ 5/16出生個体は♀で、「アンズ」と命名。
 5/21 **マーコール** 高台やぐらにルーサン設置。採食光景に驚きの声。
 5/22 **フラミンゴ** 本日から、屋外展示場に放飼状態にする。
ポニー マーブル♀ 死亡。死因は老衰。推定20歳。
 5/25 **アカコンゴウインコ** メレブ♀ 「おはよう、こんにちは、バイバイ」など言葉のレパートリーが増えている。
 6/1 **アミメクリン** 展示場柵に枝葉を設置。食べる光景に来園者が大喜び。
ニホンリス 出生個体3頭確認。(3月出生の可能性)
ニホンザル 育児放棄された出生個体の人工飼育を開始。春の動物ふれあいフェスティバル。四獣スペシャルなどを開催。
 6/2 **アミメクリン** デニーロ♂ 死亡。死因は肺炎。
 6/5 **アカカンガルー** フライトトレーニング。羽が抜け落ちている
モモアカノスリ せいか、飛び方が不安定。
 6/6 **アライグマ** 3/7脱出個体の園外一斉捜索。アライグマ見つからず、捜索専任体制を解除。
 6/7 **アライグマ** 秋田淡水魚研究会と合同で保全活動。朝から闘争多い。ポン♂の首周囲の毛がだいたい抜けている。
 6/8 **ゼニタナゴ** オアシスに水を3回補給。2頭ともあつという間に飲み干した。
 6/12 **ホンドタヌキ** 2頭がプールで水浴びや頭を洗めるなどしていた。小玉スイカを与える。スイカを持ち上げ床に叩きつけて割って、食べていた。
 6/14 **フタコブラクダ** 5/2出生ヒナ 止まり木間を力強く飛び移るようになった。
 6/16 **アフリカゾウ** メイ(H24.5出生) 展示場で死亡していた。死因は不明(後日、精密検査)。
ノドジロオマキザル H24出生ヒナ 衰弱ひどく、跼蹐立ち状態が続く。
 6/17 **ホオアカトキ** ハナ♀ 初めで頭部にさわる。回避行動は見られなかった。
 6/19 **カナダヤマアラシ** パニラ♀ 2頭(♂、♀)出産。数回の授乳確認。風雅♂、風輝♂、千秋♂を猛禽舎に同居展示。
タンチョウ 陸♀ 1頭出産。子の鳴き声にしっかり反応。
キョン マヤ♂ 久しぶりにジャンプトレーニング。軽快な動きをしていた。
 6/22 **シバヤギ** ジェーン♀ 46回目のお誕生日会。食欲旺盛。
 6/24 **ニホンイヌワシ**
 6/26 **レッサーパンダ**
 6/30 **カリフォルニアアシカ**
チンパンジー

へびおみくじ好評。準備した65枚がすべてはける。
 ガチャポンによるエサ販売を開始。
 H25出生個体の性別判明。♂8、♀6。
 ヒナの嘴と頭部の一部を確認。
 ♂1羽がディスプレイ、周囲に♀群が集まっていた。
 ロッキー♂ 動き活発。はらべこハウスにもよく上がる。
 来来♀ 座らせることができた。顔にタッチング。
 ココ♀のお誕生日会。過去最高のリピーター数。
 ルビー♀、ルイ♀親子 展示場丸太に給餌した果実を必死に食べていた。
 アンナ♀ 寝室で出産。授乳も確認。
 1羽ふ化。親子4羽で泳いでいた。
 5/16出生個体は♀で、「アンズ」と命名。
 高台やぐらにルーサン設置。採食光景に驚きの声。
 本日から、屋外展示場に放飼状態にする。
 マーブル♀ 死亡。死因は老衰。推定20歳。
 メレブ♀ 「おはよう、こんにちは、バイバイ」など言葉のレパートリーが増えている。
 展示場柵に枝葉を設置。食べる光景に来園者が大喜び。
 出生個体3頭確認。(3月出生の可能性)
 育児放棄された出生個体の人工飼育を開始。
 春の動物ふれあいフェスティバル。
 四獣スペシャルなどを開催。
 デニーロ♂ 死亡。死因は肺炎。
 フライトトレーニング。羽が抜け落ちている
 せいか、飛び方が不安定。
 3/7脱出個体の園外一斉捜索。
 アライグマ見つからず、捜索専任体制を解除。
 秋田淡水魚研究会と合同で保全活動。
 朝から闘争多い。ポン♂の首周囲の毛がだいたい抜けている。
 オアシスに水を3回補給。2頭ともあつという間に飲み干した。
 2頭がプールで水浴びや頭を洗めるなどしていた。
 小玉スイカを与える。スイカを持ち上げ床に叩きつけて割って、食べていた。
 5/2出生ヒナ 止まり木間を力強く飛び移るようになった。
 メイ(H24.5出生) 展示場で死亡していた。
 死因は不明(後日、精密検査)。
 H24出生ヒナ 衰弱ひどく、跼蹐立ち状態が続く。
 ハナ♀ 初めで頭部にさわる。回避行動は見られなかった。
 パニラ♀ 2頭(♂、♀)出産。数回の授乳確認。
 風雅♂、風輝♂、千秋♂を猛禽舎に同居展示。
 陸♀ 1頭出産。子の鳴き声にしっかり反応。
 マヤ♂ 久しぶりにジャンプトレーニング。
 軽快な動きをしていた。
 ジェーン♀ 46回目のお誕生日会。食欲旺盛。

お客さまの声

ミニプタ室内観覧者。「冬期の暮らしが観覧できて感動した。」

 アライグマまんまタイムを見て、「大森山動物園の動物たちは個性的でおもしろい。担当者の性格が伝わってくる。」

 キリンエサやり体験者。「動物を見つめる飼育員の優しい顔に感動した」

 子ども連れの夫婦。「大人も楽しめる動物園ですね。」

 ミニ干支展、へびおみくじの観覧者。「この企画はいいですね。」

チンパンジーお誕生日会のごちそうを見た観客。「わあ、すごい。どうやって作ったんだろう。何でできているんだろう。」

 ゾウトレーニンング観覧者。「トレーニング光景を時間提示してまで見せる動物園はほかにない。すごく感激した。」

 フライングケージエサやり体験者。「エサ販売が、ガチャポンになって楽しい。」

 サンショクキムネオオハンがケツメリクガメの甲羅に乗った光景を見た来園者。「いいところが見られてすごくうれしい。全国区で有名になれる。」

 アシカ情報板を見た来園者。「今日が誕生日なんだね。私と誕生日が一緒だ。」

かたばた通信 [編集後記]

動物園の40年を整理する中で、市の思い、市民の思い、そして動物園職員の思いを過去にさかのぼって知ることができました。そして、動物園が必要とされ、たくさんの方々の方々の応援があったからこそ今も成長を続けられることも改めて実感しました。
 本誌は、大森山動物園40年間の記録誌であると同時に40年の出来事を凝縮した情報誌でもあります。冊子を手に「動物園はこう変わったのか…」と今の動物園を感じたり、「昔はこんな動物がいたな」と昔の動物園に思いを馳せながら読んでいただくと嬉しいです。(保坂)

